

未来を開く 西武信用金庫 >27< 支店長に聞く

月2回のペース
で掲載します

住みたい街で「相談したい金融機関」に

1951年に開業した当支店は、60年以上にわたり地域に根づいた営業活動を展開しており、貸出先数は約710件（名寄せ後）と、当金庫全体の約4%を占めています。現在の営業エリアは恵比寿を中心に、北側は新宿、南側は品川、東側は銀座、西側は世田谷と幅広い半面、土地柄、メガバンクをはじめとする金融機関も多い激戦地域です。

地域特性としては、ビルオーナーや不動産業者、飲食業、美容業、アパレルなどが中心です。営業エリア内では創業する事業者も多く、毎日のように創業関連の相談があります。事業支援案件としてはこのほか、売上アップ対策や販路開

拓、事業診断を行う専門家派遣や他支店と協力した異業種マッチングなどを行っています。また、ビルオーナーからは、事業承継や経費削減などの案件が多く持ち込まれます。恵比寿地区には近年、新しいビルが数多く建設されている一方で、年数の古いビルも多いためリノベーション、キャッシュフロー改善、信託等の提案を行っています。ビル物件と顧客をマッチングするセミナーも実施しています。

約90人の会員を擁する若手経営者の会「西武ニューリーダーズクラブ」は、3カ月に1回の割合で講師を招いたセミナーを開催。経営ノウハウや経費削減、税

制などについて勉強をしています。

住みたい街ランキングで常に上位に位置する恵比寿では現在、恵比寿駅東口に23階建ての分譲タワーマンション、支店近くには11階建て複合ビル（住戸、ホテル、保育所、老人福祉施設）の建設が進んでおり、新たなビジネスチャンスが期待できます。とはいえ、営業エリア内は現在でも待機児童が大きな問題となっています。こうした課題の解決に向けて、「企業主導型認可保育園」や「認可保育園」運営企業への融資にも力を入れており、街おこし支援の一環として防犯カメラの設置資金や街灯のLED化資金融資にも対応しています。

恵比寿支店

野中利浩 支店長



東京都渋谷区恵比寿西1-20-2
☎03・3461・6106



ゲイト

「かざくら」や「くろきん」など、都内を中心に16店舗の居酒屋を展開。また、リラクゼーションサロンも運営している。1991年の創業。飲食事業の構造改革を目指して、山梨県笛吹市に野菜づくりの研究拠点を開設、採取したじゃがいもなどは自社の居酒屋で提供している。16年からは水産加工事業に参入。後継者不足で廃業を検討していた三重県熊野市の干物工場を継承し、近く定置網漁も始める。捕った鮮魚も自社の居酒屋で提供すること

で、生産から加工、調理、提供までの一貫体制を構築する。都内で居酒屋を運営する会社が、地方の水産業に参入するのは極めて珍しい。

西武信用金庫には、居酒屋出店での資金融資を受けているほか、水産事業でも協力を得ている。さらに、別会社で取り組んでいる未病分野の解決に向けた事業でもサポートを受けている。

▷東京都墨田区菊川1-13-8-6 F

▷代表取締役 五月女圭一氏—写真

☎03・6666・0075

<取引先紹介>

実演販売と商品卸、インターネットによる通信販売などが主力事業。創業は1996年。日本で初めて「実演販売士」という言葉をつくり、2007年に実演販売士養成講座を開設、現在、業務委託を含めて33人の実演販売士をテレビ通販やスーパーなどに派遣している。登録している実演販売士の中には、1日で1億円を売り上げたレジェンドも在籍している。

販売する商品の取り扱い数は約200で、フライパンや包丁が30%、布きんが20%、洗剤9%など。全売上の7割弱が

コパ・コーポレーション



独占販売商品で5%が準独占。15年には台湾支社を設立し、海外展開も開始。中国、香港での拠点開設も検討している。

西武信用金庫には中小企業基盤整備事業のFS（企業化調査）事業について専門家からアドバイスを受けたほか、海外進出でも協力を得た。

▷東京都渋谷区恵比寿南2-23-7 エビスパークヒルズ403

▷代表取締役 吉村泰助氏—写真

☎03・5724・4301